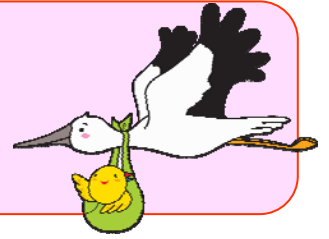


ひょうご

子ども未来通信 4月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html

平成23年度第2回 新ひょうご子ども未来プラン推進協議会を開催

県の少子対策・子育て支援の推進母体で、関係団体代表者等が集う「新ひょうご子ども未来プラン推進協議会」（会長：森茂起甲南大学教授）が3月19日、県公館で開催されました。

冒頭、金澤副知事のあいさつの後、「新ひょうご子ども未来プランプログラム 2012」に基づく24年度に向けた少子対策・子育て支援の取組等について意見が交わされました。

委員からは、「父親の育児参加をワークライフバランスという観点で考えることで企業にとってもメリットなる」、「社会全体による子育て支援の前にまずは家族が責任を持って子育てを行うことが重要」など活発な意見が出されました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

県内の認定こども園が72園に ～設置数は全国2位～

4月1日付で新たに認定こども園となる施設の認証式が、3月30日、県庁で行われました。今回12施設が認定を受け、県内の認定こども園は全部で72施設となりました。東京都に次いで全国第2位の数です。

認証式で、清原理事兼少子対策本部事務局長は、「国では、幼児教育・保育に関する制度が大きく変わろうとしている。皆さんと一緒にいいものにしていきたいので、ぜひ現場の声を届けて欲しい」と呼びかけました。

(問) 県児童課 078-362-3215

新たな県内の認定こども園

市町	園名
神戸市	八幡幼稚園・八幡ピジョン保育園
姫路市	徳栄寺保育園、フタバ幼稚園、書写保育園、網干れんげ保育園、保城さくらんぼ保育園
相生市	テレジア幼稚園
豊岡市	豊岡市立竹野認定こども園、こくふこども園
朝来市	朝来私立竹田こども園、朝来私立東河こども園
猪名川町	YMCA しろがねこども園



平成24年度「こども局」を拡充 県組織改正

～家庭施策・男女共同参画社会づくりと一体的に展開～

県では、平成24年度の組織改正で、少子対策・子育て支援や家庭応援などの施策を一体的に展開するため、こども局を拡充します。

現在のこども局は、地域ぐるみの子育て支援や出会い支援、企業との子育て応援協定などを所管する少子対策課と保育所や認定こども園、児童扶養手当、児童虐待防止等を所管する児童課の2課体制で施策を推進してきました。

24年度からは、家庭応援県民運動などの家庭づくり施策や男女共同参画社会づくり施策についても、子どもの施策と合わせて総合的に展開していくため、それらを所管する男女家庭課を新たにこども局内の課として配置し、施策の積極的な推進を図っていきます。

(問) 県少子対策課 078-362-4183

県と58社が子育て応援協定を締結 ～締結数は978社36団体に～

子育てと仕事の両立ができる職場環境の整備など、子どもを安心して生み育てられる社会づくりに取り組む企業58社と県との子育て応援協定締結式が、3月12日、県公館で開催されました。



締結式では、清原理事兼少子対策本部事務局長が、「誰もが安心して笑顔で子育てができる社会を共に築いていきたい」とエール。

各企業からは、「会社はもちろん、自分自身も積極的に子育てに関わっていききたい」「若い社員が結婚・子育てに希望が持てるような職場づくりに一層励みたい」「子どもたちに地域の伝統文化を伝える祭への支援を末永く続けたい」といった心強い決意表明がありました。



<協定を締結すると・・・>

- ・事業所内保育施設を設置する事業主に設置経費の一部を助成
- ・公共事業入札参加資格の技術・社会貢献評価点数（8点/398点満点）加算
- ・商工中金「ひょうご子育て・男女共同参画応援企業ローン」貸付利率最大0.3%優遇
- ・各企業の取組内容を県ホームページに掲載

(問) 県少子対策課 078-362-4184

県立男女共同参画センターに授乳室を設置しました

同センターでは、乳幼児連れのママたちが、安心かつ快適にご利用いただけるよう、情報図書室の一角に新たに授乳室を設置しました。

バギーのまま入ることができる、ゆったりとしたスペースには、1.5人向けの授乳チェアとおむつ交換台を備え、隣には、絵本を読み聞かせることができる「ひょうご未来文庫」コーナーを設けています。

また、神戸ハーバーランド庁舎4階～6階の男女トイレそれぞれにも、おむつ交換台を設置しました。

これからも、「紙芝居・絵本の読み聞かせひろば」や「ママの子連れセミナー」など、親子で楽しく参加できる様々な事業を実施しますので、是非お越しく下さい。

多くの方々にご利用いただけるよう職員一同、心からお待ちしています。



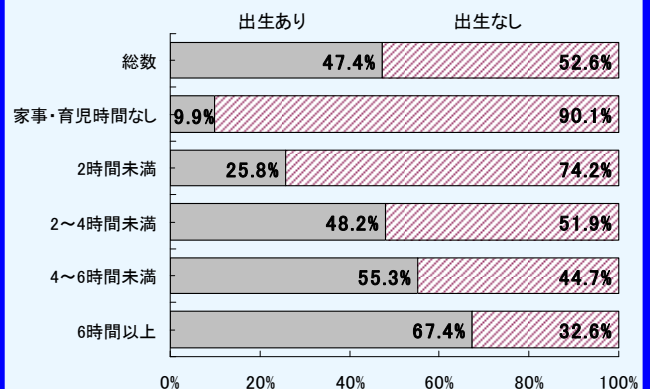
(問) 県立男女共同参画センター
078-360-8550

第9回21世紀成年者縦断調査(厚生労働省) イクメン家庭ほど子たくさん

子どもを持つ夫婦は、夫が休日に家事・育児をする時間が長いほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向があることが、3月21日発表の厚生労働省「21世紀成年者縦断調査」で明らかになりました。

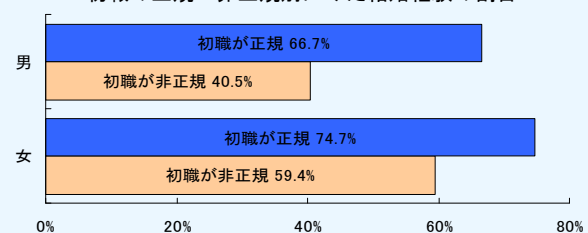
夫が家事や育児を全くしない家庭では、2人目以降の子が生まれた割合が9.9%であるのに対し、6時間以上家事・育児を行う家庭では67.4%と、その差は約7倍となっています。

夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の第2子以降の出生の状況



また、最初の就職が非正規雇用の場合、男女とも正規雇用と比べて結婚する割合が低いことも明らかになりました。

初職の正規・非正規別にみた結婚経験の割合

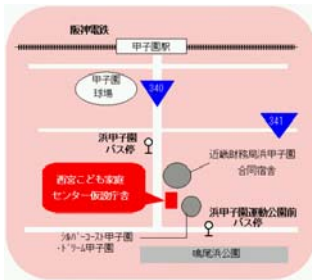


西宮・姫路こども家庭センターが建て替えのため一時移転します（25年2月まで）

両センター庁舎は、築 40 年を経過し、老朽化が進んでいることから、現在、建て替え工事を進めています。工事中は下記の仮庁舎に一時移転します。

＜西宮こども家庭センター＞

- 住所 〒663-8143 西宮市枝川町 17-56
- 電話 0798-56-8271
- FAX 0798-49-3531
仮設庁舎への移転に伴い、電話、FAX が変更されています。
- 児童虐待防止 24 時間
ホットライン
0798-74-9119
- 移転期間
平成 24 年 2 月 13 日～25 年 2 月（予定）



＜姫路こども家庭センター＞

- 住所 〒670-0942 姫路市日出町 3-24-2
- 電話 079-240-7862
- FAX 079-289-3721
仮設庁舎への移転に伴い、電話、FAX が変更されています。
- 児童虐待防止 24 時間
ホットライン
079-294-9119
- 移転期間
平成 24 年 2 月 27 日～25 年 2 月（予定）



(問) 県児童課 078-362-3198

募集・申込

県立こどもの館 子どもフェスティバル

県立こどもの館では「多世代で感動～あそぶ・つくる・かんじる～」をテーマに5月5日のこどもの日に、積み木や昔遊び・工作など家族で参加できる行事を実施します。(参加無料)

- ◆日時：平成 24 年 5 月 5 日(土・祝) 10:00～16:30
- ◆場所：県立こどもの館 全館
(姫路市太市中 915-49)
- ◆内容：
 - ・オープニング (小学生による吹奏楽、和太鼓など)
 - ・多世代ふれあい交流サロンスペシャル (南京玉すだれなど)
 - ・その他昔遊び体験やふうせんアート、アイロンピーズ、カード&ボードゲームなど
- ◆問合せ：県立こどもの館 079-267-1153



「ひょうご絵本の伝承師養成講座」受講生募集

県では、家庭や地域で絵本の読み聞かせを一層進めるため、著名な絵本作家を講師に迎えて開催する「ひょうご絵本の伝承師養成講座」の受講生を募集します。

- ◆日時：平成 24 年 6 月 8 日(金)～7 月 13 日(金)
10:10～15:00 全 12 回 (6 日間)
- ◆場所：県立こどもの館 (姫路市太市中 915-49)
- ◆定員：80 名 (全回出席できる方) 参加費無料
- ◆申込方法：氏名、住所、電話番号、FAX 番号、メールアドレス、年齢、性別を記入のうえ、「私の出会った大好きな絵本」をテーマにした 400 字以内の作文を添えて、下記申込先まで郵送または県立こどもの館ホームページから申込
<http://www.kodomonoyakata.jp/>
- ◆締切：平成 24 年 5 月 11 日 (金) 17 時必着
- ◆申込先：県立こどもの館
〒671-2233 姫路市太市中 915-49
電話 079-267-1153 FAX 079-266-4632

NPO 等の活動紹介

べこっこMaMa (神戸市長田区)

福島第 1 原発事故の影響で神戸に避難してきた 0～8 歳の子どもを持つ母親 8 人が集まって結成されたグループ「べこっこMaMa」は、「故郷を離れて自立して生活するための一歩踏み出すきっかけがほしい」との思いのもと、県内に避難する母子を支援する神戸の母親グループ「神戸ぼけっとnet.」のサポートを受けながら、活動を展開しています。

自立に向けた取り組みのひとつが、神戸市内の洋菓子店などの協力を得て作ったオリジナルのロールケーキ「べこっこロール」の販売で、毎回売り切れになるなど、大変好評を得ています。毎週日曜日、新長田・子育て支援 NPO 法人ウィズネイチャーにて販売しています。ぜひお立ち寄りください。

べこっこMaMa HP <http://bekokkomama.grupo.jp/>



べこっこロール

NPO・企業・大学・行政が連携した「子育て支援メッセ」を開催(2/26)

NPOと行政の子育て支援会議では、社会全体で子育て支援を進めていく気運を高めるため、2月26日、神戸市内で「子育て支援メッセ」を開催し、約300人を越える親子やNPO関係者等が参加しました。

参加者らは、NPOや企業、大学などの出展ブースで、様々な子育て支援情報を入手するとともに、体験コーナーではトランポリンや人形劇、親子での工作やヨガ教室等を楽しみました。

また、ゆるキャラとのふれあいや、小児科医・助産師による子育て相談コーナーも大変好評で、たくさんの笑顔と歓声があふれる一日となりました。



(問) 県少子対策課 078-362-4184

◇ 頑張る団体 ◇

法人内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援
社会福祉法人基督教日本救霊隊神戸実業学院(神戸市)

(代表者:金子良史 事業内容:児童福祉)

同法人は、児童養護施設として児童の養護・育成に取り組むほか、デイサービスやショートステイ等の子育て支援も行っています。また育児休業制度を導入するなど、職員の仕事と家庭・子育ての両立も支援してきました。



特に、職員と入所児童が生活を共にする児童養護施設では、児童との愛着関係、信頼関係の構築が不可欠です。職員は心にゆとりを持って接することが必要なことから、育児に不安のない職場環境づくりの一環として、平成24年2月に事業所内保育施設「すみれ保育園」を開設しました。

職員からは、安心して子どもを預けて働くことができる大変好評を得ています。

★このひとキラリ★

地域で子育て支援活動に取り組んでいる方を紹介します!

「笑顔で迎えたい」

一般社団法人クルレ 代表理事 赤堀 富子さん

学校から帰ってすぐにやってくる子どもたちに「こんにちは」「おかえり」と声をかけ、ひとまずほっとできる時間を見守り、「今日は、これ、描くよ」と話します。



街の絵画教室「クルレ」は、絵を描くことを媒体に子どもたちの育ちを支援しています。言葉で表現することがまだまだ難しい子どもにとって、描画活動は自らを表現する手段でもありますし、自らを癒す手段でもあります。アトリエを開いて25年間、子どもの声を懸命に聞いてきました。「あなたは、どうしたい?どんなふうに描きたい?」と本人に聞くこと、これは言葉を持たない子どもに対しても同じです。変わらない態度と笑顔で寄り添うことが子どもにとって最大の支援だと信じています。

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部 子ども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

ひょうご子育て
twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも
好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。
regist@magazine.hyogokosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

